

## TOPICS

### 小・中学生のための TSB ファッションカレッジ 2025 2025.8.3 [本学]

服飾文化専攻が毎年行っている「小・中学生のための TSB ファッションカレッジ」。今回のテーマは「手描き捺染 オリジナルハンカチをつくろう!!」です。服飾文化専攻の伊豆田友美講師・学生スタッフと共に 45 cm ×45 cm の布を好きな色を染め、オリジナルのイラストや絵を描いて、世界に一つだけのハンカチ作りを行いました。子どもたちは、「どうやって色が染まるのか」を学びながら、一生懸命に色を染め付けていました。それぞれの力作とともに、最後は修了証をお渡ししました。



### 株式会社利久と考案 「彩り牛たんビビンバ」 弁当販売！ 2025.6.25～7.13 [宮城県内イオン6店舗]

株式会社利久様とイオン東北様のお力添えをいただき、健康栄養学専攻4年生が考案した「彩り牛たんビビンバ」弁当が商品化されました（担当教員：川俣幸一教授）。食べやすい厚さにスライスし南蛮味噌で味付けした牛たん・5種類のナムル・ピリ辛のコチュジャン・ライス・とろり食感の温玉がベストマッチ!ピリ辛でご飯がすすむ、暑い夏を乗り切るのにぴったりな一品です。6月下旬より、宮城県内のイオン6店舗で販売され、たくさんの方々にご購入いただきました。



### 令和7年度 みやぎ県民大学 大学開放講座 木炭で、ありふれたものを描く 2025.8.19・20 [本学]

日頃見慣れたものをじっくり見て描くことで、新たな気づきがあります。宮城県在住の方を対象とした今回の公開講座では、美術表現学科の鈴木専教授と伊勢周平講師が指導を行いました。受講生は初めに木炭など描画材の使い方や描き方の基本についての説明を受け、その後作品制作に取り掛かりました。木炭の性質上、童心に返ったかのように手を汚しながら、木炭の描き味を楽しんでいただきました。講座の最後には、個性豊かな作品を並べて講評会を行いました。



## SCHEDULE 2025年度 後期の主なイベントスケジュール

※詳細が決まり次第本学 HP に情報を公開します。

2025年	10/18 (土)・19 (日)	大学祭
2026年	2/5 (金)～11 (水)	第58回美術学部卒業制作展 [せんだいメディアテーク]
	2/20 (金)	TSB FASHION SHOW 2026 [エル・パーク仙台]
	3月下旬	高校1・2年生のためのデッサンセミナー
	3月下旬	高校生のためのTSBファッションカレッジ

## OPEN CAMPUS

大学	オープンキャンパス 10/18(土)・3/20(金・祝)、個別相談・見学会 12/6(土)
短大	オープンキャンパス 10/18(土)・11/30(日)・12/6(土)・1/24(土)・3/20(金・祝)

## PHOTO ALBUM

子ども生活専攻の学生が制作した作品が学内を彩っています。短大棟はもちろんのこと、大学・短大共有の6号館入口にも季節感あふれる装飾で、学生たちの心を癒す空間に。



東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部のことを  
もっと知りたい方はこちらから



### 編集後記

本学の学びの核となる「生活文化」には、地域とのつながりが欠かせません。地域連携活動の写真撮影に行くと、学生たちがいつもとは違った輝きを放っている様子を目の当たりにします。彼らがこれからの地域を創りあげる人材となることを期待しています。(学募広報課)

入試・オープンキャンパスに関するお問合せ

東北生活文化大学  
東北生活文化大学短期大学部  
入試課・学募広報課  
0120-20-7521  
(平日 9:00～17:00)

〒981-8585 仙台市泉区虹の丘 1-18-2



# 生文大通信

東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部 広報誌

No.6  
2025.October

## 特集

## 地域連携活動

## ワクワクぷろじえくと

生文大通信 No.6 2025年10月発行  
発行：東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部 学募広報課

<表紙写真>

絵本の読み聞かせボランティア  
2025.8.27 [泉図書館・子供図書室]  
[メンバー] 子ども生活専攻2名 [担当] 佐藤恵美助教

仙台市泉図書館にて毎週行われている「おはなし会」に、学生がボランティアで参加しました。対象は幼児から小学校低学年の児童。絵本をただ読むだけでなく、図書館の方に教わったことを取り入れ、工夫して読み聞かせを行いました。このような実践が、今後の実習に向けての自信につながることを期待します。



# ワクワクぷろじぇくと 地域連携活動

2024.8 - 2025.9



**加茂（の）水族館**  
**2025.9.15 [加茂市民センター]**  
[メンバー] 食物栄養学専攻・子ども生活専攻 7 名  
[担当] 米川純子講師

仙台市泉区加茂にある加茂市民センターと、山形県鶴岡の加茂水族館が連携して、子どもたちの SDGs に関する意識向上を目指すイベントに、昨年に引き続き今年も本学学生が参加しました。入口にはフォトスポットとして学生が作った顔出しパネルを設置。地域の子どもたちが楽しめるコーナー遊びとして、SDGsを意識した魚釣りゲームや、クラゲの缶バッヂ作り、ビーズのプレスレット作り、海の生き物のオリジナル紙芝居の読み聞かせ等を行いました。学生たちは地域の方々に積極的に声掛けし、交流を深めました。



**健康づくり講座**  
**～いざというときに備えよう、防災食～**  
**2024.8.24 [本学]**  
[メンバー] 健康栄養学専攻 7 名  
[担当] 鳴原美智子准教授



虹の丘連合町内会主催で、健康栄養学専攻鳴原研究室が健康づくり講座を開催しました。はじめに、体を使った防災クイズを行ってから、災害時に必要な栄養についてのお話しをしました。防災食の簡単調理・試食の際には、学生たちは参加者の調理補助を行い、和やかな雰囲気の中で実習が進みました。今回は、カゴメ株式会社様からご提供いただいた「長期保存が可能な野菜ジュース」や「トマトケチャップ」を使用。アルファ化米と野菜ジュースを使ったカレーピラフと、密封袋を用いて鍋を汚さずに作るスパゲッティボリタンを調理しました。試食した参加者からは「美味しい」との感想が聞かれました。



**ユアスタパークフェス 2025**  
**2025.8.2**  
**[ユアテックススタジアム仙台]**  
[メンバー] 子ども生活専攻・健康栄養学専攻 15 名  
[担当] 廣瀬団准教授

本学からほど近いユアテックススタジアム仙台で行われた「ユアスタパークフェス」。地域の子どもたちが水遊びを楽しめるキッズコーナーで、学生たちがお手伝いをしました。子どもたちの安全を考えサポートしながら、ウォーターサバイバル（手作りの障害物に隠れながら水鉄砲で打つアクティビティ）と一緒に楽しみ、みんな全身体びしょ濡れに!大喜ぶ子どもたちと触れ合えて大満足の学生たちでした。この日は最高気温が 34℃と、とても暑い日でしたが、思う存分水遊びをして、子どもたちにとっても、学生にとっても、特別な一日になったのではないのでしょうか。

**透明骨格標本から学ぶ魚の不思議!**  
**2025.6.29・7.6・7.20・7.26 [仙台うみの杜水族館]**  
[メンバー] 食物栄養学専攻 3 名 [担当] 高瀬清美講師



小・中学生とその保護者を対象として、約1か月かけて魚の透明骨格標本を作製しました。標本作製の原理を学びながら、魚の多様な特性や食としての重要性についても一緒に考えました。



**杜の都のクラフトフェア 2024**  
**2024.10.5 [サンモール一番町商店街]**  
[メンバー] 美術表現学科 12 名 [担当] 立花布美子准教授



2日間で3万人を超える来場者があったクラフトフェアにブースを出店。箸置きやペーパーウェイト等、小物作品の展示販売を行いました。販売をとおして、学生たちは「商品」としての自分の作品とじっくり向き合う機会となりました。

**泉ヶ岳悠遊フェスティバル**  
**2025.9.27 [オーエンス泉ヶ岳自然ふれあい館・市民キャンプ場]**  
[メンバー] ボランティアサークル 7 名 [担当] 八巻美智子講師



ボランティアサークルの学生たちが、普段行っている震災ボランティア活動（アイリンブルー）を地域の方々に知っていただくために、ハーバリウム作りのワークショップを行いました。中に入れるドライフラワーは本学の花壇で育てたものです。

**水の森地域まつり**  
**2024.10.26・10.27 [水の森市民センター]**  
[メンバー] 服飾文化専攻 7 名 [担当] 川又勝子教授・菊地紗代講師



授業やファッションサークルの作品を展示。展示期間中は多くの市民が来場しました。学生が中心となり展示作品の説明を行ったところ、観覧者からは昨年同様に好評を得ることができました。また、例年の要望に応じて一部作品を販売しました。

**「ぺたんこ粘土でつくってみよう」陶芸教室**  
**2025.6.24 [仙台市立長命ヶ丘小学校]**  
[メンバー] 美術表現学科 2 名 [担当] 立花布美子准教授



5年生2クラスの図画工作授業の粘土学習の取り組みとして陶芸による器づくりを指導しました。身近なモノを使って粘土にスタンプをして模様付け、教職希望の学生（陶芸専攻）にとっては、教育の現場を知る上で貴重な経験となりました。

**将監南公民館での適塩・減塩講座**  
**2024.9.12・2025.3.16 [将監南公民館]**  
[メンバー] ソルトサークル 7 名 [担当] 川俣幸一教授



適塩・減塩についての講座を2回シリーズで開催。1回目は栄養講座の他、塩分量に配慮した料理を提供。2回目はポッカサッポロフード&ビバレッジ様よりサプライを受け、血圧とレモン汁をテーマとした講座とレモン料理を提供し、大好評でした。

**子ども食堂ボランティア**  
**2025.8.17 [泉区中央市民センター]**  
[メンバー] 食物栄養学専攻・子ども生活専攻 6 名 [担当] 米川純子講師



子ども生活専攻の学生は、子ども食堂に来てくれた子どもたちを温かく受け入れるような空間づくりとして、駄菓子コーナーや蛍光塗料を混ぜたスライムづくりを担当。食物栄養学専攻の学生は100食ほどの調理補助を担当しました。

**ミシン学習サポートボランティア**  
**2025.2.26・2.28・3.5 [名取市立増田小学校]**  
[メンバー] 服飾文化専攻 4 名 [担当] 菊地紗代講師



5年生の家庭科の授業で、お弁当包み制作指導のサポートにあたりました。学生と教員が待ち針の留め方やしつけ・ミシン・アイロンのかけ方などを指導。参加した学生にとっても子どもたちの笑顔を間近で感じられる活動です。

あゆの里の未来を担う子ども達  
ー保育・食育実践プログラムー  
**さかな丸ごと食育**  
**2025.9.4 [小鳩幼稚園・はやせ鮎 宮城鮎工房]**  
[メンバー] 食物栄養学専攻 1 名 [担当] 高橋恵美准教授



幼稚園児たちが地域の資源である「鮎」を知り・触れ・食べ・つなげていく食育活動。学生は鮎のつかみ取りや鮎の塩焼き試食体験活動の際に、園児への声掛けなどを行いました。地域の実践的な他業種連携に触れ、学びも深まりました。

**第 11 回こどものまち in りふ**  
**2024.11.17 [利府町文化交流センター リフノス]**  
[メンバー] 子ども生活専攻 8 名 [担当] 武田早苗教授



会場内につくられた非日常的な町で、小学生がお店を運営し、そのお給料で買い物を楽しむ企画。300 名超の入場者が訪れる中、本学学生は様々なブースで小学生に接客のアドバイスをしたり、商品を制作したりするなど、一緒に活動しました。

**アームカバー企画・開発**  
**2024.8.19-10.20**  
[メンバー] 服飾文化専攻 21 名 [担当] 菊地紗代講師



NPO 法人キャンパー様の依頼により、災害時の炊き出し活動用オリジナルアームカバーを企画・開発しました。使いやすさと機能性を重視し、25組を製作。防災教育の一環としても取り組みました。



**ピアヘルパーボランティア**  
**2024.8月 計 6 回 [アトリエ自遊楽校]**  
[メンバー] 子ども生活専攻 4 名 [担当] 米川純子講師



ピアヘルパー認定資格を目指している学生が、夏休み中にボランティアに参加。幼児クラスの「お面作り」、小学生クラスの「流しそうめん」等に関わり、企画を運営する難しさを実感。現場の高い保育スキルに触れる、大変貴重な機会となりました。